

経験的小売の重要性を再定義する：学生設計提案書バッグアメリカン・アーキテクチャー
2017年賞

"The Paper Pavilion" - 実験的でリサイクル可能な家具ショールームのコンセプトで、シンガポールのテマセクの学生デザイナー、ラリー・テオによるリサイクル可能な材料と新しい技術

ポリテクニクは、アメリカ建築賞2017の受賞者の1人として選ばれました。

建築設計/小規模建築カテゴリ。

シンガポールのゲイラン・パール工業団地に再編された工業都市

シンガポールの都市再開発当局による住宅用および商業用。インテリア

建築卒業生は、既存の倉庫ユニットのペアの適応再利用スキームを設計しました。

ハイテクリサイクル可能な家具ショールームへの変換は、

構造材料及び照明材料としてのボール紙のような材料、「ピエゾ-

人為的なエネルギー収穫のための「電気」は魅力的な環境を作り出します

その訪問者の活動によって生み出された残余エネルギーに反応し、吸収し、リサイクルする電気。

このプロジェクトを、慣習的でない表示スペースのパラダイムとして描くために、段ボール- 謙虚な

無視され放棄されることが多い素材は、ユビキタスとして包括的に

構造と照明の材料は、「紙の木」の配列を組み立てる - 一連の特徴的な、垂直

前記商品が建物内の空間覇権を強調するように指向された表示空間

"Cardboard Jungle"のコンセプトを生み出しました。訪問者は昇天の旅に持ち込まれる

このジャングルを通して、目に見えない人に囲まれるために中断された「紙の木の家」に導かれた

段ボールの美しさ、世界のウォークスルー小売体験を解明する

未来の持続可能なショールーム。

この比喩的なジャングルは、紙の生産のために木が伐採され、

段ボールの製品は、材料の照明特性を最大限に引き出した「復活」されています

例示されている。たとえば、影の効果を表示するには、自然な照明が

過度のことを避けるためにビルディングパラメータのすべての側面にアパーチャを戦略的に活用

第1と第2を結ぶ「紙の木」との間の一時的な空間上の人工照明

レベル - 謙虚な素材の小さな穿孔を通して意図的に直射日光をフィルタリングし、

実際のジャングルや森林で効果をエミュレートする

レベルは、多数のオーバーハングキャノピーによってフィルタリングされます。結果は細工された特別な経験です

実験材料と技術の調和の取れた集まりによって、コンパクトなエリアにバンドルされています。

The Paper Pavilionは、アメリカ建築賞2017に加えて、

IFデザイン賞のドイツの2016年のインテリアでの11,000の国際入賞のうち、トップ300

I-DEA Spatialによって授与されたシンガポールの他のいくつかの賞に加えて、

デザイン賞、シンガポールデザイン賞2015